

# 笠岡地区まちづくり協議会

## 会報第5号

### 『第2回役員会を開催！』

7月11日(水)14時から、まちづくり事務所において第2回目の役員会を開催しました。

#### ●主な協議内容

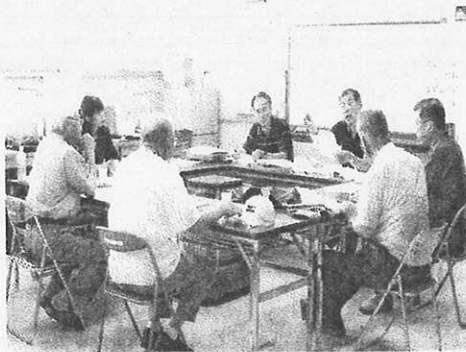
##### ①各部会・地区運営委員会の開催状況について

各部会とも初顔合わせとなる第1回目の会合を開き地域の問題点について意見を出し合いながら、お互いの連携を深めました。

また、地区運営委員会においても随時会合が開かれておりますので、ご意見などをお寄せください。



H24. 7. 13 第2回子育て部会



H24. 6. 18 第1回くらし部会

##### ②各部会の活動計画(案)及び各地域の課題等について

各部会から活動プランなどの報告があり、7月末までに内容を検討しながら議案としてまとめ、次回の第3回役員会(8月22日(水)14時から)で承認を受けた後に総会へ提出します。



第2回役員会

##### ③研修会の開催について

総会終了後に研修会を開催し、会員相互の連携とまちづくり活動に対する意識の向上を図りたいと考えております。

講演では、まちづくり活動について貴重なお話が聞けると思いますので、皆様方の積極的なご参加をお願いいたします。

・総会：9月9日(日)13時30分から

中央公民館4階集会室

・研修会：総会終了後、約1時間30分

※講師は安芸高田市の辻駒健二さんを予定しております。

『まちづくり協議会事務所』 笠岡市笠岡2627番地〔元郵便局1階〕

電話(FAX兼)：63-5949

『開館日』 月・水・金曜日の14時～17時まで



# 過去の災害を 教訓に！！

## 昭和51年9月の大雨災害を振り返る…

### 台風17号のツメ跡



公営住宅にも押し寄せた土砂  
避難して無人の住宅（笠岡市殿北地区）



行方不明者救出に出動した陸上自衛隊  
十三特科連隊（笠岡市大島中大空地区）

写真提供：笠岡地区消防本部

今年の梅雨は、地球温暖化の影響とされる記録的な豪雨が九州の各地を襲い、大きな災害のツメ跡を残しましたが、私たちの住むまちでは幸いにも大事に至らず、いよいよ厳しい夏本番を迎えました。今回の事例をみるまでもなく自然災害は大雨に起因するものが最も多く、近年は更に大規模化の傾向にあります。私が消防署に入署して3年目の初秋のこと、停滞していた秋雨前線に台風17号の影響が加わり、9月8日から13日までの6日間で当市は年間雨量の約半分である509ミリの降雨量を記録、市内各地で死傷者をはじめ、家屋の全半壊、床上・床下浸水、道路の損壊、田畑冠水など広い範囲にわたって大きな被害が続出しました。長雨に台風が追い討ちをかけたため、がけ崩れの被害は深刻で、6名の尊い人命を奪った悲惨な現場を今でも鮮明に憶えています。

その災害から約35年余りが経過、当時の様子も忘れられて「対岸の火事」といった認識に薄れているとしたら大変なことです。昔から「二百十日・二百二十日」といった日が台風の来襲する厄日とされており、立春から数えて二百十日が9月1日にあたり「防災の日」に制定されている所以でもあります。

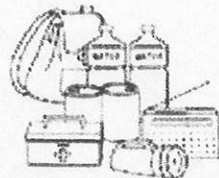
皆さん～災害への備えは万全ですか？災害の比較的少ない私たちの地域ですが油断は禁物です。笠岡市では防災教室を開催し『地域密着型訓練』『今日から取り組む「災害対策」（自助～共助）』を推進しており、まちづくり協議会でも自主防災組織と連携して地域の安全確保に取り組んでまいります。

皆さんも日頃から防災について話し合ったり、「わが家の備え」をチェックするなど、まず、できるところから防災の第1歩を踏み出しましょう。

《会長：記》

# “わが家の 防災対策”

9月1日



防災の日

災害は、明日にでも起こるかも知れません。被害を最小限におさえるために、また、いざというときにあわてないように、家族そろって話し合っておくことが必要です。月に一度、家族で防災会議を開きましょう。

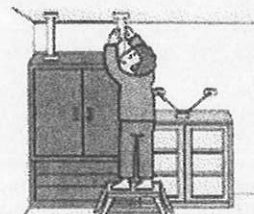
## 一人ひとりの役割り分担を決める

・家族の中で、日常的な防災の役割りと、災害時の役割りを決めておきましょう。

- ☆火の始末担当
- ☆出口の確保担当
- ☆非常持出品の確認担当
- ☆近所への連絡担当 など

## 家の危険箇所をチェックする

- ・家の中や周囲を見て、安全対策をとりましょう。
- ☆家の中に、物を置かない安全な空間をつくる。
- ☆家具を固定する。
- ☆避難経路を確保する。
- ☆窓ガラス、屋根、ブロック塀やガスボンベを点検する



## 非常持出品、備蓄品の管理

- ・災害が起こってから必要なものを集めるのは、時間的にも物理的にも難しいため、前もって準備しておきましょう。
- ☆懐中電灯やラジオなどの電池は用意してありますか？
- ☆食料の消費期限は切れていませんか？

## 災害時の避難方法、避難場所の確認

- ・災害は、家族が一緒にいるとき起こるとは限りません。災害用伝言ダイヤルなど、離ればなれになったときの連絡方法や避難場所を確認しておきましょう。



## 避難ルートを歩いてみよう

- ・休日などを利用して、自宅から避難場所まで実際に歩いてみましょう。川やがけなどの危険な場所も確認しながら、安全なルートを探してください。

### ●主な非常持出品（リュックなどに入れておく）

- ・携帯ラジオ（FM付）
- ・常備薬、応急セット
- ・ロープ、レジャーシート
- ・ティッシュペーパー
- ・下着類、生理用品、紙オムツ
- ・ロウソク、マッチ、ライター
- ・携帯電話（充電器も）
- ・食器、割りばし、缶切り、ナイフ
- ・缶詰、乾パン、ミネラルウォーター
- ・懐中電灯（予備電池も）
- ・現金、印鑑、通帳、保険証、免許証
- ・軍手、タオル

### ●主な備蓄品

- ・水（1日3ℓ×3日分）
- ・卓上コンロ、固形燃料
- ・米、インスタント食品（アルファ米、カップ麺など）

## ＜お知らせ＞

### 「地域のお宝発見！」「地域のお宝総選挙ワークショップ」の開催について

小学校4・5・6年生が地域に眠っている資源を子ども目線で掘り起こし、地域に「誇り」を見つけ、地域に残ってくれる人材育成を目的に、昨年度末に「地域のお宝紹介カード」を作成しております。そこで、その成果を保護者や地域の人と共有し、子どもたちの思いを聞いてみるワークショップが開かれますので、皆様のご参加をお願いします。

日 時 平成24年8月31日(金) 10:00～11:30

場 所 中央公民館4階集会室

### 「地域担当職員」の異動について

この度、藤井浩平さんが異動され、笠原一哉さん(税務課主事)が新しく担当職員となりました。網本善光さん(健康医療課長)、山田真二さん(子育て支援課副統括)、石井康夫さん(環境課技師)には引き続いてお世話になります。どうかよろしくをお願いします



## 笠岡町の歴史を学ぶ会（仮称）会員募集

文化部会長 大塚善彦

私たちは今笠岡で生活していますが、笠岡町の歴史について詳しく学んだことがありません。笠岡町がどのように歩み、現在に至っているのか知りたいと考えています。

笠岡にある神社仏閣についても、ほとんど知りません。笠岡の歴史に興味のある方が集まって笠岡の歴史を学び、笠岡をもっとよく知る活動を始めたいので、笠岡町在住の方ばかりでなく、広く仲間を募集します。電話連絡か、申込用紙を事務局に届けてください。

申込先1 笠岡地区まちづくり協議会事務局 電話(FAX兼)：63-5949

申込先2 文化部会長 大塚善彦 電話 63-6142

..... キ ..... リ ..... ト ..... リ ..... 線 .....

笠岡町の歴史を学ぶ会に  
入会します。

名 前

住 所

電 話